

広報 じちしん

● 自治振興協議会連合会だより ●

▶ 第24号 ◀

【編集・発行】福島市自治振興協議会連合会
【事務局】福島市政策調整部 地域共創課内
電話024(525)3731



各地区会長、委員の皆さま(令和4年11月18日撮影)

会長あいさつ



福島市自治振興協議会連合会
会長 吾妻雄二

「自治振興協議会連合会だより」の発行にあたり、市内28地区の地区自治振興協議会連合組織の会長として、「一言」あいさつを申し上げます。

「安全安心なまちづくり」をすすめていく上では、市民と行政が共に手を携え、地域の課題解決に向けて取り組んでいくことが重要であります。

自治振興協議会は、昭和32年より実施している福島市独自の制度で、市民と行政が共創の担い手として、地域ごとの課題や将来像などについて、直接意見を交換し、安全安心なまちづくりに取り組んでおります。

市長あいさつ



福島市長
木幡 浩

日頃から市政各般にわたり、「ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。」

長期化するコロナ禍に、人口減少の加速災害の多発化など厳しい環境が続きますが、コロナ感染が相当程度減少し、国が感染症法上の分類見直しを決定するなど、ポストコロナの動きが活発化してきました。

今年は大きな転機の年になります。適切な感染対策を講じながら、将来の飛躍に向けて、変革を恐れず、新型コロナウイルスの出口を見据えた取組を進めます。

1つめは、地域活力の再生です。街なかでは再開発事業や市民センター整備を進める一方、多彩なイベントで賑わいを創出

令和4年度、各地区で開催された自治振興協議会は新型コロナウイルス第7波が到来する期間での開催となりましたが、換気など十分な感染対策をとり、全18会場で地区の皆さまの参加の上、無事に意見交換ができたこと安堵しております。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、今年度は4年ぶりに開催することができた研修をおし、課題の共有や先進的な取り組みを学ぶ事ができたのは、今後、地域の特色・実情を踏まえたまちづくりにおいて重要になると考えております。

おわりに、地域の課題解決に向けて行政と意見交換を行い、地域の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりのために取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

します。来場者が150万人を超えた道の駅ふくしまから、広域的な回遊を促すとともに、地域おこし協力隊などを活用して、各地の個性に応じた地域振興を進めます。

2つめは、人口減少対策です。子育てと教育で選ばれる都市づくりをさらに進展させるとともに、高齢者も外国人もすべての人が住みやすいまちを形成し、移住定住を促します。地域の皆様も大らかな気持ちで新しい住人をお迎えください。

3つめは、新時代への投資としてのデジタル化・ゼロカーボンです。高齢者にも優しいデジタル化を推進し、新しいつながりをつくります。エネルギー価格の高騰に対し、長い目で家計負担が軽減できるような省エネ化を促進します。

自治振興協議会の皆様と連携しながら、経験のない世界に市民共創で挑戦し、希望の未来を切り拓いてまいります。ご理解とご協力をお願いします。

自治振興協議会とは

自治振興協議会は、昭和32年に発足した福島市独自の地域広聴制度です。福島市では、各地区で自治振興協議会を開催しており、協議会の委員が、市長をはじめとする市の幹部職員と、市政に関する意見の交換を行っています。例年、6月下旬から8月下旬までの期間に一部合同開催を含め、市内18会場で開催しています。

開催目的

各地区から、地区の課題や提言及び提案を聴き、意見の交換を行うことにより、共創による安全で安心して暮らせるまちづくりの推進と、市民と行政とが情報の共有化を図るために開催しています。

協議テーマ

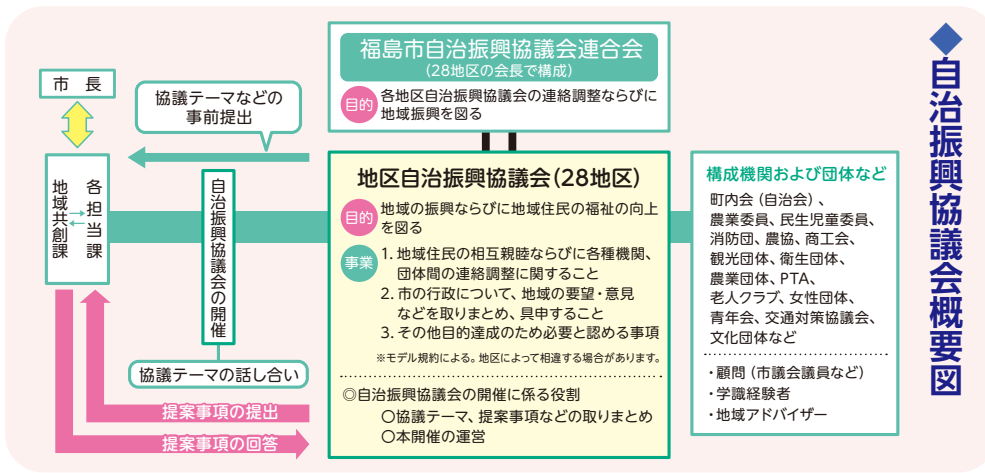
身近な住みよい地域づくりに関する事項や、地区全体あるいは市全体に関わる意見・提言など、地区よりあらかじめ提出された地区の最重要課題について話し合います。

◆地区自治振興協議会

地区の協議テーマや提案事項などの取りまとめ、協議会開催の運営などにあたっています。

協議会は町内会をはじめ、地区の各種団体の代表者や学識経験者で構成され、地域振興並びに地域住民の福祉の向上を図ることを目的とし、「地域のまちづくり」に取り組む中心的組織として大きな役割を担っています。

◆自治振興協議会概要図



地区会長コメント



湯野地区自治振興協議会 会長 齋藤 一哉

湯野地区は飯坂温泉の摺上川十綱橋東岸に位置し、かつては40軒近くあった旅館が15軒に、4軒は高齢者介護施設にリニューアルされ、現代に沿う形での再生に取り組んでいます。源泉かけ流しの共同浴場が地区に4軒あり、泉質や温度の特徴に合わせた愛好者は、区内はもとより近隣にも多くの方々がおられます。

また、温泉と共に特徴的なのが、春はサクラランボ、夏はモモ、秋はリンゴと季節毎に実らせる果樹栽培が盛んなことです。

地区のシンボル「愛宕山公園」には、与謝野晶子や宮本百合子の文学碑や歌碑があり、頂上から一望できる絶景は観光客にも親しまれています。公園清掃は、月1回公園愛護会を中心に、自治振興協議会も協力し活動しています。参加者は高齢化のため年々減少しており、この傾向はコロナ禍もあって地区内の様々な活動にも影響しています。今後、どう地域の賑わいを取り戻し、活動を充実させていくかが課題であり、地区住民と協力しながら解決に向け取り組んでまいりたいと思います。



愛宕山公園(飯坂町湯野)

地区別開催状況・協議テーマおよび提案事項件数

区分 地区名	開催状況		参加者数		女性 出席者数 割合	協議 テーマ 件数	提案事項 件数		
	月日	会場	内	外					
本庁	中央東	8月30日	アクティブシニアセンター		55	21	38.2%	1	21
	中央西	8月31日	アオウゼ		50	19	38.0%	1	4
	渡利	8月5日	渡利支所		50	16	32.0%	2	86
	杉妻	8月4日	杉妻支所		29	10	34.5%	1	84
	蓬萊	6月29日	蓬萊学習センター本館		48	15	31.3%	1	42
	清水	8月23日	清水学習センター本館		95	44	46.3%	1	154
東部	東部	8月29日	もちずり学習センター		36	19	52.8%	2	58
	大波				10	3	30.0%		34
		計			46	22	47.8%		92
北信	鎌田	8月2日	北信支所		30	8	26.7%	2	50
	瀬上				21	6	28.6%		27
	余目				25	5	20.0%		65
	計				76	19	25.0%		142
吉井田	8月19日	吉井田支所		27	9	33.3%	1	83	
西	荒井	7月8日	西学習センター		30	16	53.3%	2	33
	佐倉				34	15	44.1%		73
	計				64	31	48.4%		106
土湯温泉町	7月6日	湯愛舞台(ゆめぶたい)		25	10	40.0%	1	9	
信陵	笹谷	6月24日	信陵支所		49	19	38.8%	2	74
	大笹生				31	10	32.3%		43
		計			80	29	36.3%		117
立子山	7月15日	立子山自然の家		36	13	36.1%	1	21	
飯坂	飯坂	7月14日	パルセイイざか		16	10	62.5%	1	26
	平野				10	4	40.0%		71
	中野				11	4	36.4%		18
	湯野				19	5	26.3%		68
	東湯野				12	3	25.0%		11
	茂庭				8	3	37.5%		21
		計			76	29	38.2%		215
松川	8月16日	松川支所		74	15	20.3%	2	193	
信夫	8月9日	信夫支所		47	13	27.7%	1	243	
吾妻	6月28日	吾妻学習センター本館		62	17	27.4%	2	184	
飯野	8月10日	飯野学習センター		35	8	22.9%	1	73	
合計					975	340	34.9%	25	1,869

令和4年度
自治振興協議会
開催状況

令和4年度の自治振興協議会は6月24日の笹谷・大笹生地区から、8月31日の中央西地区まで、一部合同開催を含め28地区18会場で開催しました。新型コロナウイルスの第7波が到来する中での実施となりましたが、換気をする等感染対策をとり全会場で開催。開会前のアイスブレイクを令和3年度に引き続き実施。手指を使った体操や、フラダンスなど、地区ごとに趣向を凝ら

した内容により会場が和み、活発な意見交換の場となりました。市からは市長をはじめ協議テーマに関連する各部長などが出席して、それぞれの地区の課題解決に向けた活発な意見交換を行いました。また、今年度は当日使用する資料をスマートフォン等でも閲覧可能にし、人によさしいデジタル化の取り組みも進めました。

開会前のアイスブレイク



換気をしながらの開催



活発な意見交換



スマートフォンでも資料閲覧



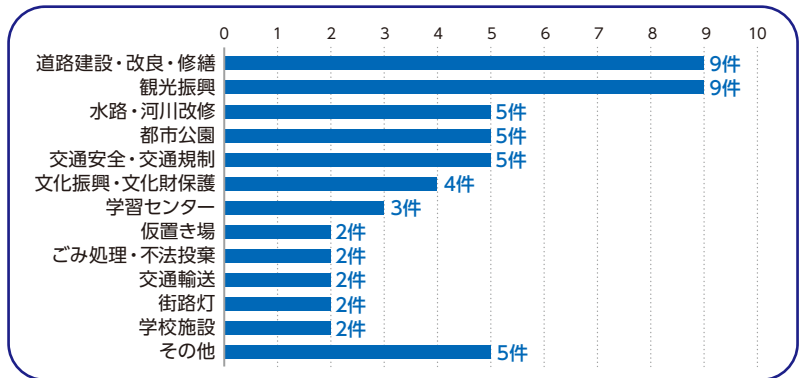
協議テーマ

自治振興協議会
各事業の
実施等状況

自治振興協議会の協議テーマは、各地区の最も重要な課題や提言について、地区より現状と課題の説明を行い、市はどのような解決方法があるのかを示し、より良い解決策について話し合いを行っています。

令和4年度は、25件の提出があり、55項目の課題・提言を受けました。

内容別件数は下記に示すように道路建設・改良・修繕に関するものが9件で従来同様最も多くなりましたが、道の駅や祭事等、観光振興の面での協議を行ったものが、同一件数の9件となっており、ウィズコロナ・アフターコロナへの関心の高まりを感じました。



◆令和4年度 協議テーマ内容別 課題・提言件数内訳

市の対応

協議テーマは、各地区自治振興協議会で十分に検討し、市に対して提案された、地区全体あるいは市全体に関わる重要な内容であります。

市では、重要性、緊急性を十分考慮し、課題解決に努めていくため、総合計画や各種まちづくり計画などと調整し、実現を図っていきます。

災害時の情報発信につとめています

防災対策について
(平成30年度提出案件)

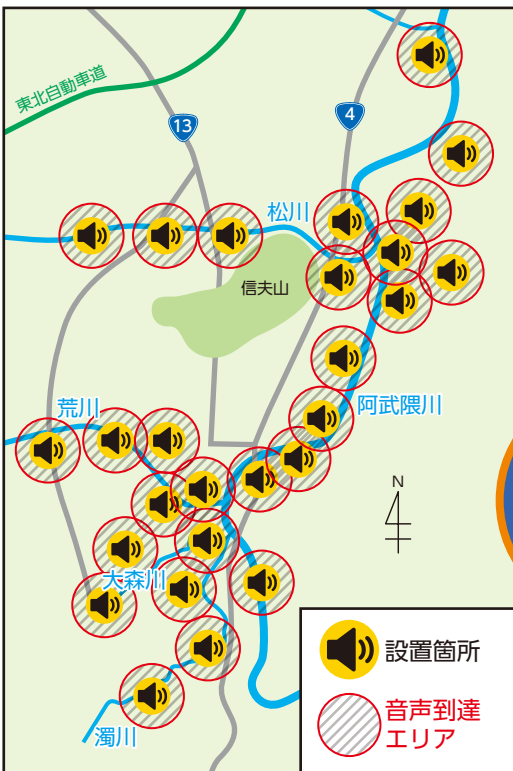
昨今の過去に例を見ない大雨などの災害により、各地域で災害に対する意識は年々高まっており、加えて地区内の高齢化が進み、災害情報の伝達等が心配されておりました。

迅速かつ正確な情報発信がより重要である災害情報の発信は、停電時や携帯電話での受信が困難な高齢者へも配慮した情報の発信が求められておりました。

これらの背景を受けて、市では令和3年度から、阿武隈川をはじめと

した河川沿いに屋外スピーカー27基、町内会や社会福祉施設、小中学校に戸別受信機1,500台を配備し、従来の登録制メールやSNS等と併せ、防災・避難情報伝達の多重化を図りました。

屋外スピーカー設置箇所



※スピーカーの高さ:約15m
※音声達成範囲:半径約500m



提案事項

令和4年度は、総数で1,869件の提案事項が市に対して提出されました。

内容別には、従来同様、水路・河川、道路側溝修繕、街路灯の設置などに関係する提案が特に多く、全体の約80%を占めています。

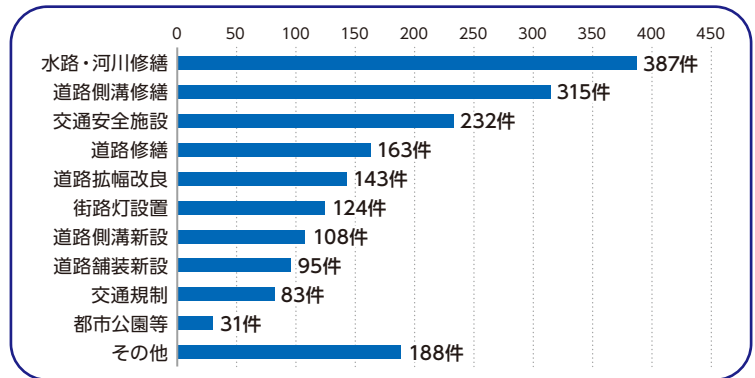
より良いまちづくりを進めるために、地区の皆さんが身近な課題について協議・提案によって、地区の皆さんの意見が行政に反映されています。

市の対応

地域生活に密着した多くの提案事項が提出されていますが、市全体での実施率は約30%超(令和3年度)と実施できる件数には限りがあります。

市では、事業の緊急性と地域のバランスなど、総合的に勘案して事業を実施してまいります。

提案内容の実現に向けて、最善の努力をしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



◆令和4年度 内容別 提案事項件数内訳

令和4年度 内容別 地域生活基盤整備事業実施件数内訳

事業内容	件数
1 街路灯設置	78
2 反射鏡設置	66
3 道路除草	58
4 道路側溝修繕	48
5 道路側溝新設	14
6 道路舗装修繕	7
7 道路防護柵設置	4
8 その他	53
計	328

(令和5年2月28日現在)

地域生活基盤整備事業

地域生活基盤整備事業は、地域生活において身近な道路街路灯や道路反射鏡の設置、側溝の修繕等の整備を行うことにより、住みよい地域づくりの推進を図ることを目的とした事業です。地域全体での緊急性・利便性などを考慮し事業が進められ、令和4年度は約1億5千万円の事業費で、計328件の事業について取り組みました。(発行日現在着手中を含む)

これにより、夜道の不安解消、側溝への転落防止など、身近な地域生活の課題の解決につながり、安全で快適な住みよい地域づくりの推進が図られています。

道路側溝修繕工事 (吉井田地区)



街路灯設置工事 (中央東地区)



連合会活動報告

自治振興協議会連合会とは

自治振興協議会連合会は、市民と行政が一体となり市政の発展と地域の振興、毎年開催される各地区自治振興協議会の連絡調整を図ることを目的として、昭和61年に設立されました。現在、市内28地区の地区自治振興協議会により構成されています。

総会

令和4年度 福島市自治振興協議会連合会総会は5月10日に開催し、令和3年度の事業報告、収支決算報告、令和4年度の事業計画案、収支予算案について審議しました。

会長会議

11月18日には、各地区自治振興協議会会長による会長会議を開催しました。令和4年度の地区自治振興協議会の開催状況等について報告した後、各地区における課題や今後の開催方法等について、意見交換会を行いました。



■会長会議(11月18日)

研修会

連合会では、市政や本市における現状と課題について理解を深めることを目的に研修を行っています。

10月12日には、道の駅ふくしまを訪問し、施設の概要や設置の背景等について説明を受けた後、施設の見学を行いました。同日、連合会として過去に福島県へ要望活動を行った濁川の河川改修事業について、福島県東北建設事務所より、事業の進捗や今後の見通しについて説明を受け、改修現場を実際に見学しました。

2月17日には、高齢者の移動支援をテーマに三春町を視察しました。三春町では、令和3年3月に「中郷おでかけ応援隊」として、地域の方が運転手となり移動手段に困っている高齢者の移動を支援する制度を開始。制度取組みの背景や課題等について説明を受け、諸課題の解決に向けた意見交換を行いました。



■道の駅ふくしまの見学(10月12日)



■濁川河川改修現場見学(10月12日)



■三春町役場での研修(2月17日)

国・県要望活動

連合会では、国や県などが所管する道路や河川の整備・改修、信号機の設置や交通規制などについて、諸課題の解決に向け、地域の声を直接伝えるため、所管機関に対し、要望活動を実施しています。

今年度は、新規要望として福島北警察署へ1件、昨年度以前からの継続要望として県北建設事務所へ5件、要望しました。

新規案件となる笹谷地区の「福島交通飯坂線踏切の交通渋滞緩和について」では、福島北警察署より「福島警察署、福島県警察本部と協議をしながら最善の方法を模索していく」との見解がありました。

要望案件については、いずれも、子どもからお年寄りまで安全安心で快適な生活を送るために、大変重要な課題でありますので、引き続き国や県に対して地域の声を直接伝えてまいります。



■地元 笹谷地区木村会長、信陵支所長とともに、福島北警察署へ要望書を手渡す吾妻連合会長

地区名	区分	件名
笹谷地区	新規	福島交通飯坂線踏切の交通渋滞緩和について
渡利地区	継続	都市計画道路矢剣町渡利線の整備促進について
杉妻地区	継続	濁川における鳥谷野堰の改修計画の早期策定と堰橋の拡幅について
大波地区	継続	国道115号の整備改善について
飯坂方部	継続	国道399号(仮称)飯坂東バイパスの整備促進について
信夫地区	継続	永井川地区の濁川・平田川の水害対策について



連合会では、平成28年度に飯坂街道から飯坂瀬上線への右折用車線の新設検討を要望しておりましたが、今年度、当該交差点の車線拡幅工事が始まりました。渋滞の解消が期待されています。

平成28年度要望
交差点の右折車線設置等について
～渋滞の解消に向けて、工事が進められています～

福島県立福島北高等学校の北側の県道飯坂瀬上線と、通称飯坂街道との交差点部は、交通量が多く慢性的な渋滞が発生しています。当該交差点には右折用の車線がなく、右折待ちの車両により渋滞が発生しやすい状況にあります。休日等、渋滞が著しい場合は数100メートルに及ぶこともあり、飯坂温泉の観光振興における大きな課題となっていました。

工事前の交差点の状況



■右折待ち車両により渋滞化している様子(平成28年要望当時)

工事中の交差点の状況



■車線の拡幅工事が進む様子(令和5年2月撮影)

地区じちしん紹介 23 中央東地区

中央東地区自治振興協議会



会長 小野 國武

中央東地区は、福島駅東口周辺を中心に、古くから政治経済、教育文化など広い分野で発展してまいりました。また、数多くのイベントが開催され、県内外から多くの観光客が訪れる地区でもあります。

令和2年から新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止が相次ぎましたが、令和4年度は「わらじまつり」や、「福島秋祭り連山車」などが3年ぶりに開催され、かつての賑わいが戻りつつあることを大変嬉しく感じております。

福島駅東口の市街地再開発事業においては、令和8年の施設オープンに向けて着々と準備が進められております。これにより中心市街地がますます発展することと期待し、地区としても、賑わいの創出に繋がられるようなまちづくりに取り組んで参りたいと思います。



■信夫山・烏ヶ崎展望台より福島駅方面を望む

～賑わいが戻りつつある中央東地区～

まちなか広場で開催されたイベント

第53回福島わらじまつり



福島うまいもの市



すずらんフェスタ



■花によるおもてなしも進む

